



# かいふ川

令和5年1月10日 発行



あ  
明けましておめでとうございます。

2023年を迎え、今日から3学期が始まりました。  
保護者の皆様、去年はたいへんお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

年末年始も新型コロナウイルス感染症のニュースがあとを絶ちませんでした。そんな中、皆様のご家庭では、どのようにお正月

を迎えられましたでしょうか。

子どもたちは、「今年は〇〇にがんばろう。」と新年の決意をたてたと思います。学校でも子どもたちのたてた新年の決意を応援していきたいと思ひます。

3学期はわずか52日（6年生は卒業まで47日）です。この3か月は、それぞれの学年の“まとめ”をするとともに、新しい学年への“準備”期と考えて、行動できるようになることを願っています。学習面でも、生活面でも、もう一度、今の自分をふりかえってもらえたら、そして学年のしめくくりとしての“思い出づくり”ができたかと考えています。

お子様がよりよい成長をしていけるよう一人一人に寄り添った指導・支援に、教職員一同続けて努めてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力を引き続きお願ひいたします。そして新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの感染症対策も共に頑張っていきましょう。

## ○海陽町小学校令和4年度卒業式・令和5年度入学式の日が次のとおり決まりました。

令和4年度卒業式	令和5年3月16日（木）午前
令和5年度入学式	令和5年4月11日（火）午前

## ○始業式では、次のようなお話をしました。

17日間の冬休みが終わりました。楽しい冬休みでしたか。終業式の時にお話をした、「自分からあいさつ、自分からお手伝い」ができましたか。また、新年を迎え、「新しいめあて（目標）」を立てたでしょうか。

「今年……」「今年こそ……」と目標を考え、その目標に向かって努力することは大切なことです。ぜひ今の気持ちを持ち続けてください。そして、その目標に近づいていける方法を紹介します。それは「あきらめない」ことです。（中略）

さて、いよいよ今日から3学期です。3学期は、たった52日間しかありません。6年生は47日です。たいへん短いですが、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

3学期はどんな学期でしょう。3学期は3つの意味のある学期だと思ひます。

ひとつは、3学期は、今の学年の「まとめ」の学期です。学習や生活の「まとめ」をしてください。

もうひとつは、3学期は次の学年の「じゅんぴ」の学期です。あと3ヶ月すれば、新しい学年になります。ですから今のうちからしっかりと「じゅんぴ」をしてほしいと思ひます。

そして、3学期は「おもいでづくり」の学期です。3学期もいっぱい思い出を作ってください。

「まとめ」をして、「じゅんぴ」をして、「おもいでづくり」をして、「楽しい海部小学校」の仕上げをしましょう。

## ○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の徹底について <R4.1月期>

全国的に新規感染者が増加する中、オミクロン株の市中感染が各地で確認されているところですが、1月5日(水)、徳島県においてもオミクロン株による感染が判明しました。今回の感染については、県内の市中感染ではないとされているところですが、オミクロン株については、その感染力の高さ等により、今後、感染者数の急増につながることに懸念されており、本県とつながりが強い大阪府においては、オミクロン株による複数の感染者を含めた学校クラスターも発生しています。そして、1月8日(土)18時には「とくしまアラート・感染観察」が発動されました。今後は、入試のための県をまたぐ移動の機会の増加や、気温の低下による換気不足等により、感染リスクが高まる時期を迎えます。

つきましては、新学期の始まりにあたり、改めてつぎの点について徹底してまいりますので、ご家庭でもご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 1 マスクの着用、換気、手洗い、手指消毒等基本的感染症対策を徹底する。
- 2 毎日の検温等による健康観察を徹底し、発熱等の新型コロナウイルス感染症が疑われる症状が見られる場合は、登校を控えることを徹底するとともに、速やかに「かかりつけ医」等に相談する。(※抗原簡易キットを用いて検査を行った場合でも、必ず速やかに受診する。)
- 3 県をまたぐ移動については、基本的感染症対策をして行う。

行き先の都道府県のホームページを事前に確認しておく等、感染症状況を確認する。また、移動先で感染・発病した場合には、感染拡大防止のため、その地域の保健医療当局に協力する。

また、別紙にて「新型コロナウイルスに関する人権に配慮した行動と心のケア」について、県教育委員会からのメッセージをお送りします。この内容につきましてもご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○笑う門には福来たる

3学期の始業式のお話です。

お正月、テレビではお笑い番組が放送されていました。テレビのなかった時代には福笑いという遊びがありました。「笑う門には福来たる」という言葉にもあるように、笑って1年を過ごそうというわけです。昔からあるこの言葉は、昔の人の経験から生まれたものですが、最近の研究では、科学的にも、笑うことで体の免疫機能が高まることが証明されています。朝のあいさつにしても、笑顔で「おはよう」と言われると気持ちがよいものです。家の人にごはんを出してもらったり、友達から助けられたら、笑顔で「ありがとう」と言いたいです。自分が、失敗したときやピンチになったときも、笑顔を作ってみてください。自分を客観的に見ることができ、次への意欲や挑戦する意欲がわいてくるはずです。笑顔のない友達がいたら、「どうしたんだろう」と相手をおもいやり、声をかけてあげるような優しさがあれば、学校生活も温かなものになります。今年、ぜひ笑顔を忘れない、よい一年にしていきたいと思います。